

第62回住総研シンポジウム
2024年度住総研重点テーマ「郊外住宅地のネイバーフッドマネジメント」
連続シンポジウム第1回

閉じたコミュニティから 開かれたネイバーフッドへ

2024年7月8日（月）13:30～17:00

会場 建築会館ホール および オンライン
(東京都港区芝5-26-20)

参加費 無料
定員 会場参加100名／オンライン参加300名

主題
解説



齊藤 広子 (横浜市立大学 教授)

講演



熊谷 玄 (株式会社スタジオゲンクマガイ 代表取締役)
「暮らしと共にある
パブリックスペースのデザイン」

-左近山団地事例



宝楽 陸寛 ((公財)泉北のまちと暮らしを考える財団 代表理事)
「地域住民の関係性を再構築する仕事」

-泉北ニュータウン事例



吉田 啓助 (株式会社大風 代表取締役／ひのさと暮らしLABO)
「ネイバーフッドを地域資源で開く」

-日の里団地事例



入江 智子 (株式会社コーミン 代表取締役)
「もりねき住宅と周辺のまちづくり」

-もりねき事例

討論



司会：柴田 建 (大分大学 准教授)



ゲストクリティーク： 広瀬 郁
(株式会社トーンアンドマター 代表取締役)

パネラー： 齊藤、熊谷、宝楽、吉田、入江

開かれたネイバーフッドへ 閉じたコミュニティから

郊外住宅団地におけるハードな住環境および社会活動のマネジメントは、自治会等の住民自治組織が担ってきた。しかし近年、特にコロナ期に祭りや運動会等の地域活動を一旦中止したことをきっかけに、従来どおりの活動を高齢化した住民のみで今後も続けうるのか、疑問が持たれるようになってきている。また、今後住宅団地の次世代継承に向けた実践的な取り組みを行う際には、企画やデザイン力、さらには組織化や資金等の面で、住民のみで実行することは難しい。

そこで必要となってくるのは、近隣（ネイバーフッド）を外部に開き、内外で活躍する小商いの担い手、アーティスト、移住農家等と連携しながら魅力的な場を生み出す、民間企業と住民組織が連携しながら団地再生の事業を実施するなど、多様な主体とのネットワークを構築することであろう。

今回のシンポジウムでは、開かれたネイバーフッドとして、外部とネットワークを形成しながら住宅団地継承の取り組みを実践しているゲストを招き、議論を行いたい。

申込方法

ホームページの申込フォームにご記入の上、お申込みください。
住総研HP <http://www.jusoken.or.jp/symposium/jusoken.html>

申込締切日

7月1日（月）まで

問合せ

一般財団法人 住総研
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-12-2 朝日ビルヂング2階
Mail : sympo@jusoken.or.jp
TEL : 03-3275-3078 / FAX : 03-3275-3079
当日の問い合わせ先 : 090-9301-0317

次回予告

連続シンポジウム第2回

「郊外住宅地で“なりわい”をつくる」

2024年10月23日（水）13:30～16:30

東京ミッドタウン八重洲およびオンラインで開催予定です。詳細は後日HPにて公開いたします。

連続シンポジウム第3回

「ネイバーフッドマネジメントの実現に向けて」

2025年2月27日（木）13:30～17:00

建築会館ホールおよびオンラインで開催予定です。詳細は後日HPにて公開いたします。